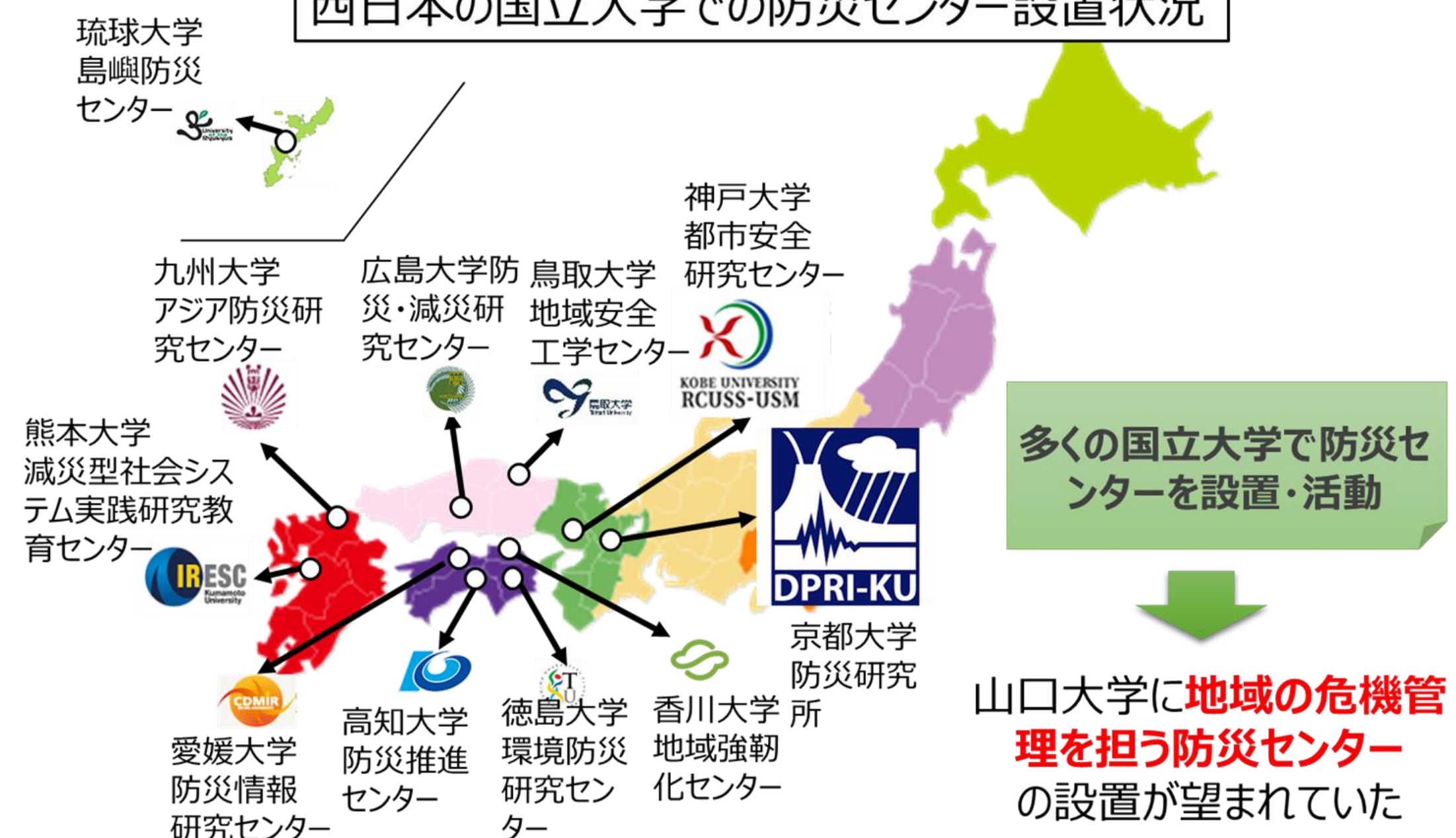
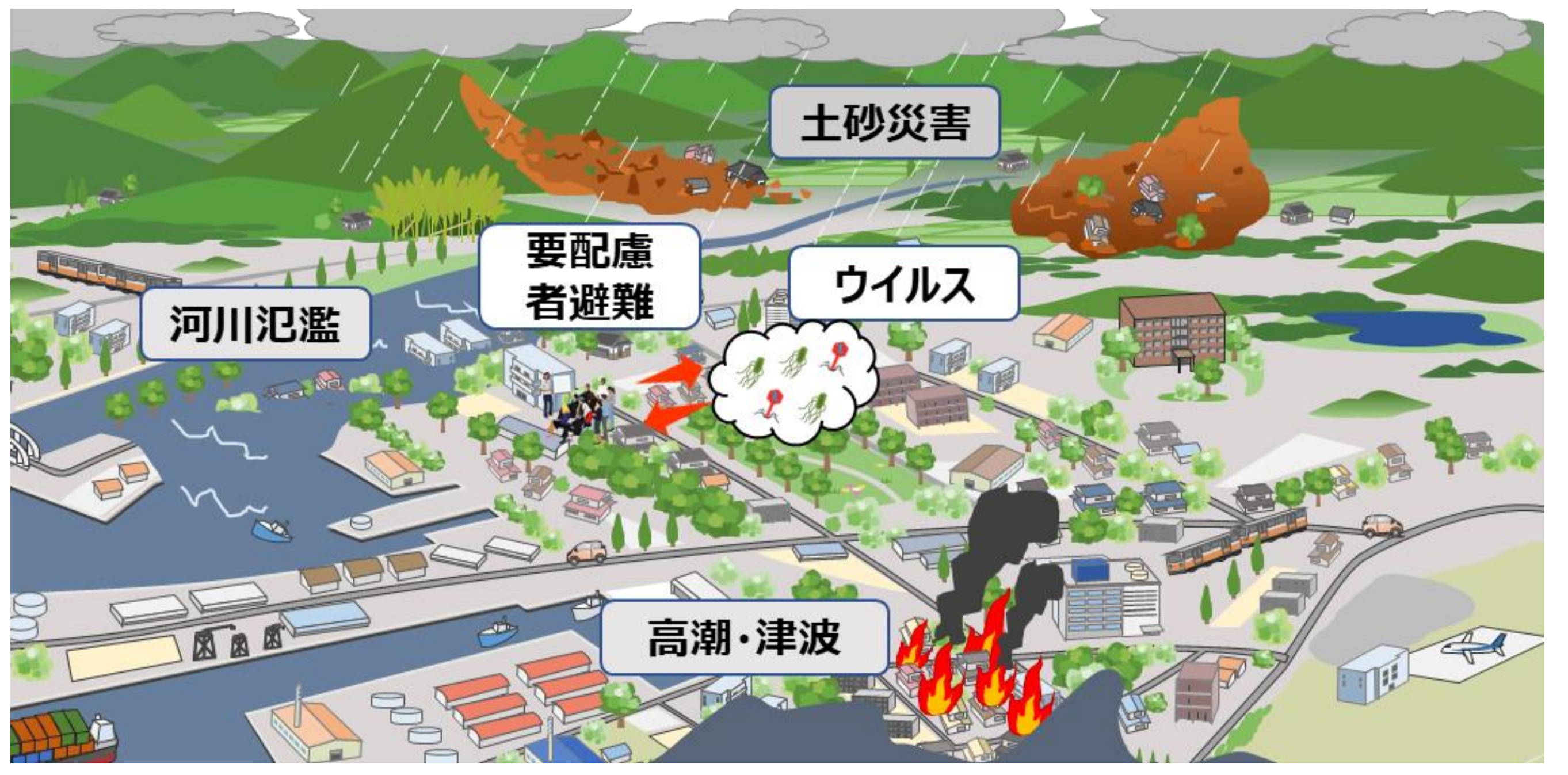


地域防災・減災センターの設立の背景

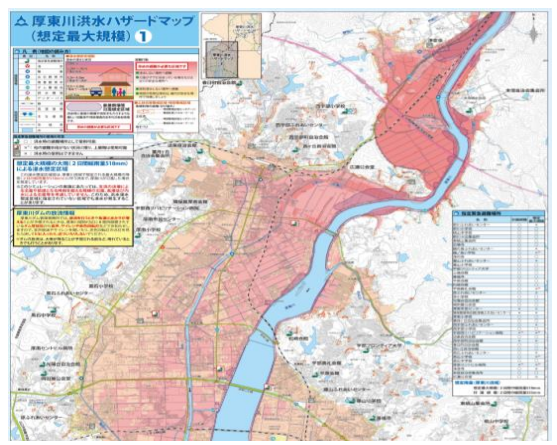
西日本の国立大学での防災センター設置状況



安全・安心を実現するSDGsグローバルコミュニティの創成



医療・介護施設の 水害タイムライン策定支援



工学的
知見
(防災工学・
河川工学)

保健学的
知見
(保健衛生)

宇部市発の水害防災モデル



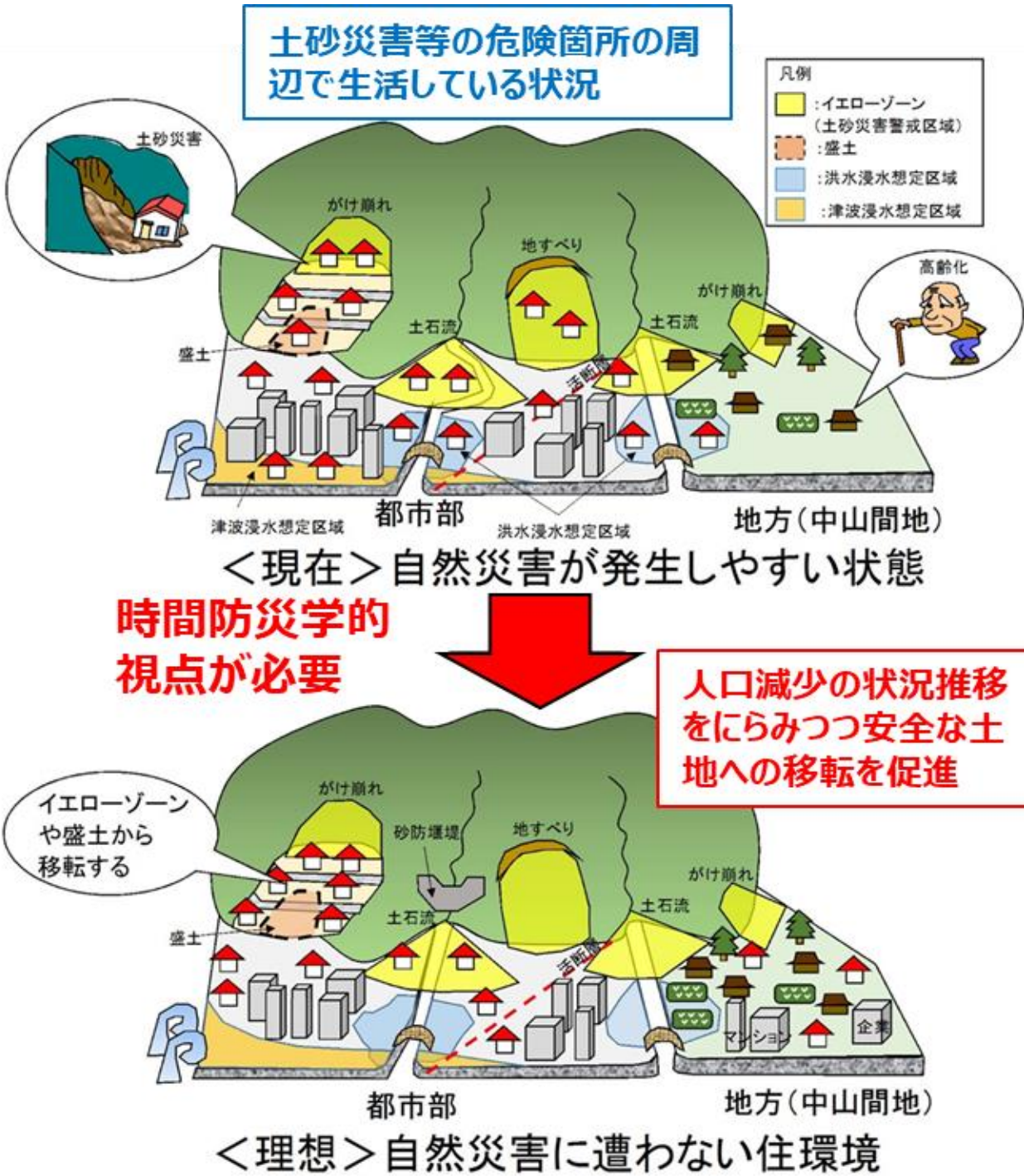
- I 水害避難計画の策定支援
 - 患者や施設利用者が安全に避難するための時間確保
 - 避難後も医療・介護活動を安定的に継続
- II 施設と地域住民及び行政の協働・共助による安全なコミュニティづくり支援
 - 施設と地域住民及び行政が地域の災害リスクを話し合い、取るべき行動を確認

「宇部市発の水害防災モデル」を全国展開

被災ポテンシャルの歴史的 返還の把握 (時間防災学)

アフターコロナ社会において持続可能で、安全・安心な街づくり (新・宇部方式) を提案

最新の技術で被災ポテンシャルを長時間スケールで評価・判定



5G・IoTを活用した 防災・ヘルスケアネットワークシステムの開発

ヘルスケアネットワーク
(独居高齢者見守りシステム)

各種センサーによる監視
(マットセンサーの例)



行動のAI解析

民生委員
保健師

平常時

5Gネットワークを活用した災害時の監視システム

- 高解像度カメラ+5Gリアルタイム配信による
- 1) 河川水位・氾濫監視
 - 2) 土砂災害
 - 3) ため池決壊の監視
- 要配慮者の避難状況把握



ヤマト運輸配送車を利用した 大気環境・気象モニタリングシステムの開発



2020年6月24日に共同研究開始のプレスリリース
ヤマト運輸, 山口大学, セネコムが共同で、様々なセンサーを搭載したIoT配送車を開発し、災害・事故・感染症のない安全・安心の社会構築を目指す。

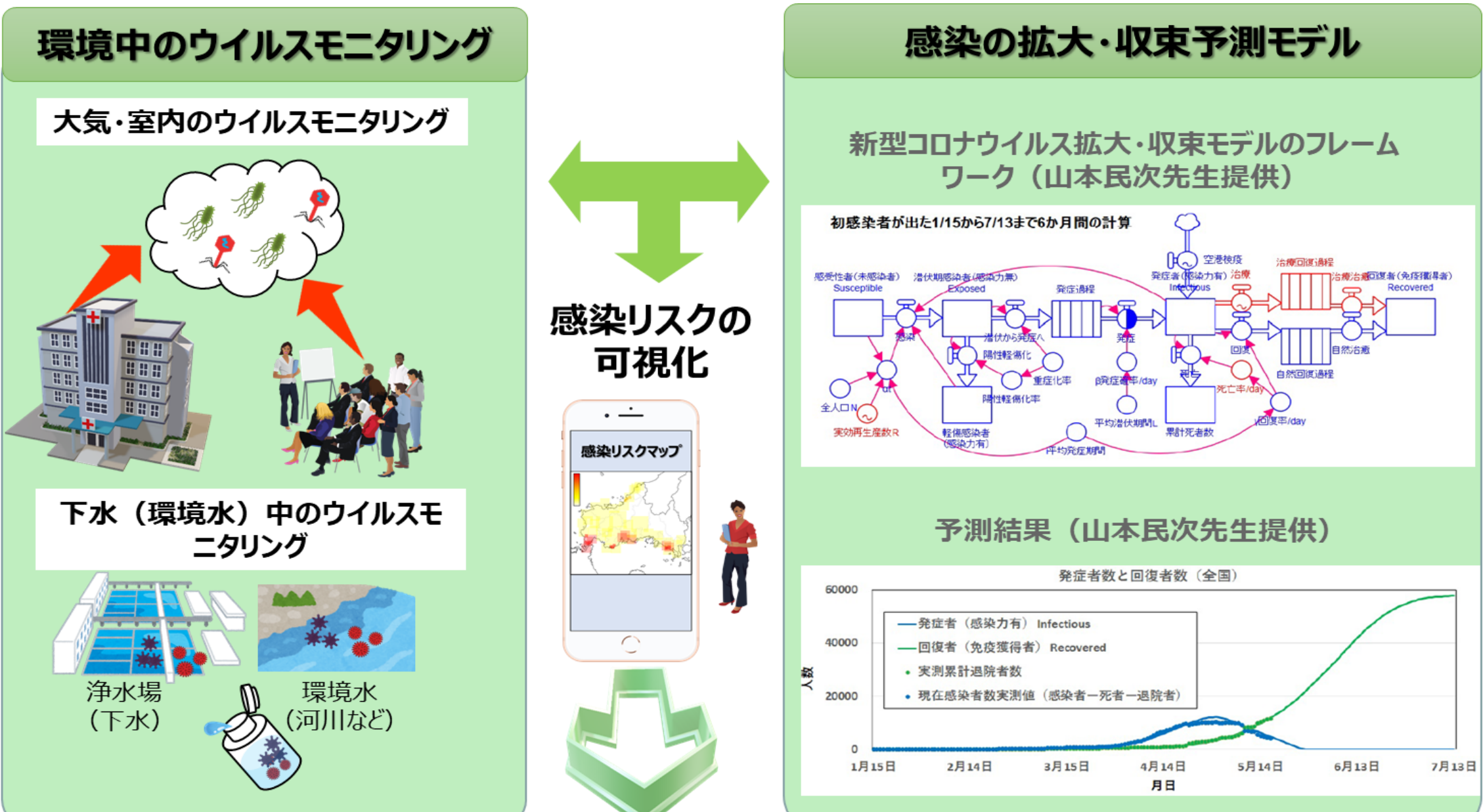
劣化・崩壊・流出メカニズムを考慮した 盛土・斜面リスク評価システムの開発

実感を伴う被災シナリオの活用 (宇部モデル)



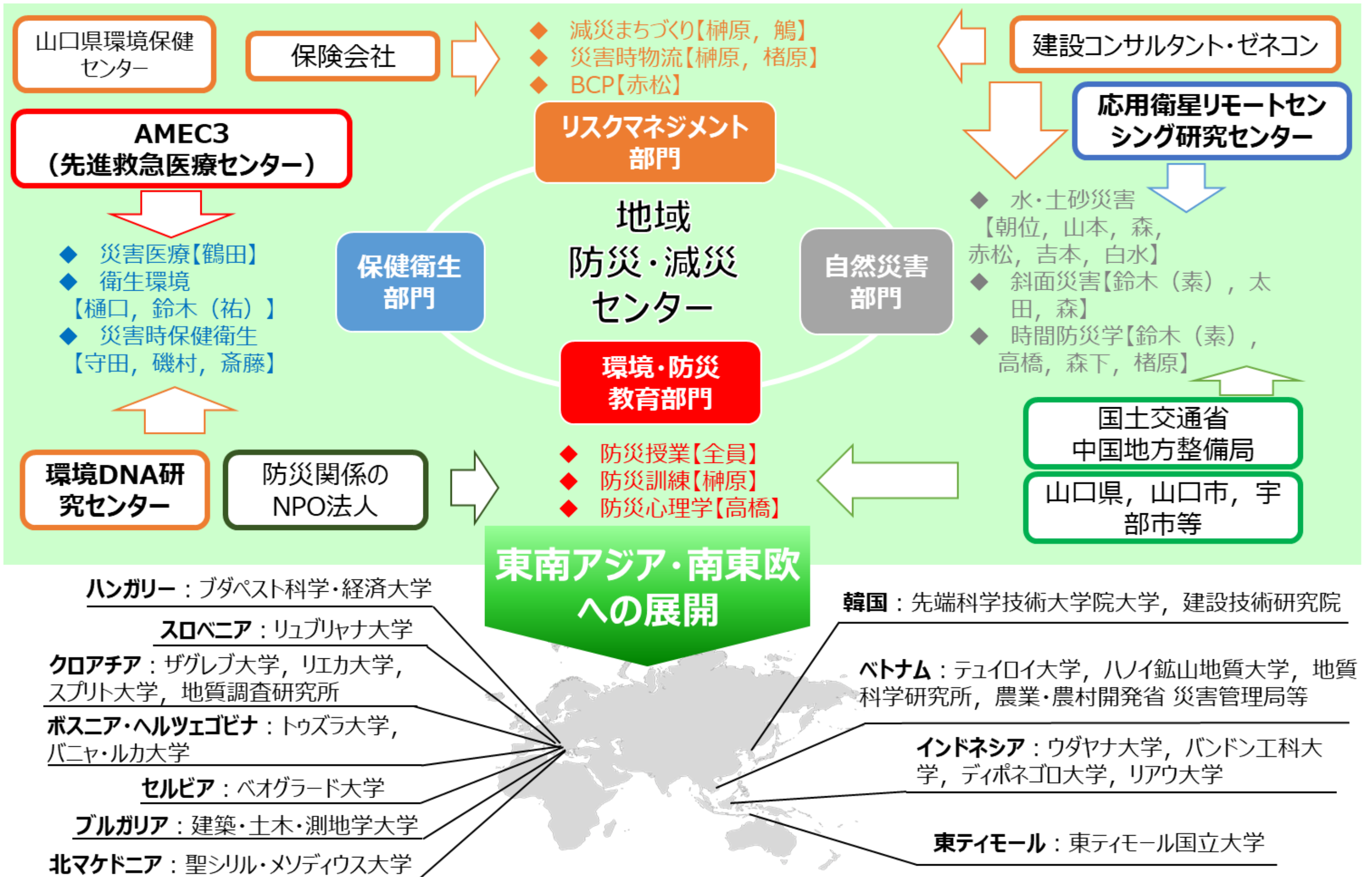
- 現在の最悪のシナリオのみを示すハザードマップから脱却。住民の行動を促す。
- 宇部市など関係機関と連携、リスク・コミュニケーション、避難経路の設定、施設・都市計画の立案等に活用 (宇部モデル)

ウイルスの流行モニタリングとリスク管理法の開発



リアルタイムモニタリングと将来予測に基づくリスク管理法

構成員と連携機関



地域の防災・減災に役立つ活動を進めていきます。よろしくお願ひします。

詳しくは山口大学・地域防災・減災センターのホームページまで